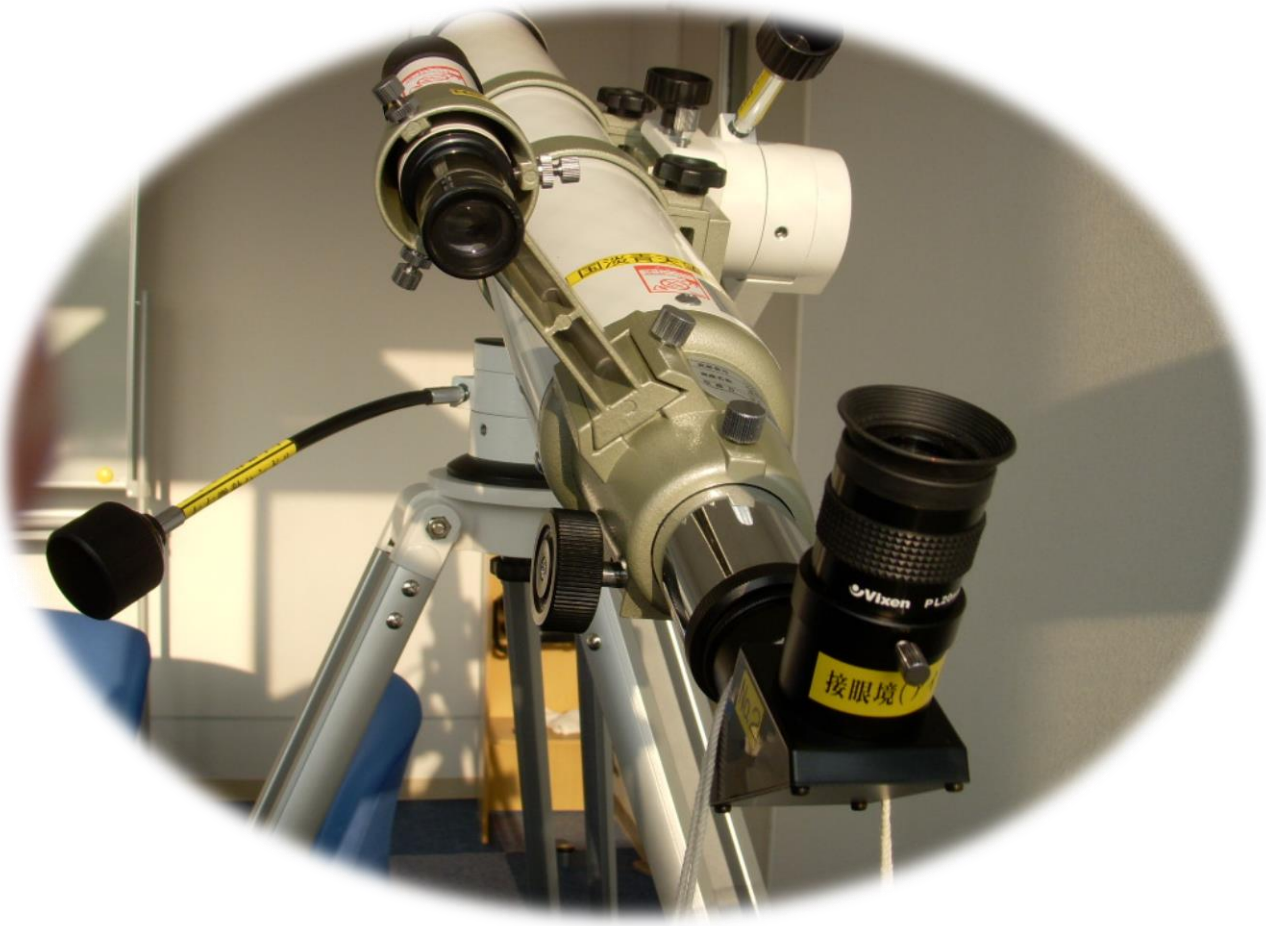
天体観察

～月・星を観察しよう～



国立淡路青少年交流の家

天体観察

～月・星を観察しよう！～

■ 概　要

交流の家の周りには灯りが少なく、星夜探訪には適しています。望遠鏡を使っての観察はもちろんですが、望遠鏡がなくても充分に楽しめます。空を見上げることで今まで気づかなかった新しい発見に驚きを感じることができます。

■ ねらい

◆月や他の天体について理解を深める。
◆「観察する」ことを通して、自然の神秘さ、不思議にせまる。
◆自然を大切にする気持ちを育む。

■ 準備物

	準備物	必要数
1	●懐中電灯	人数分
2	☆天体望遠鏡 ※使い方の指導が必要な場合は、指導員を要手配。	必要数（2台まで）
3	☆星座早見版	人数分（50枚まで）

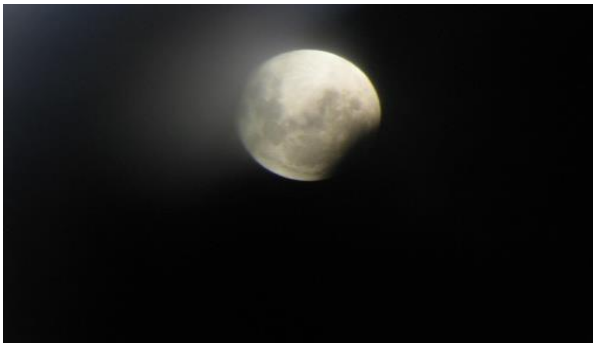
● 必要な物
☆ 交流の家にあるもの

■ 服装

動きやすい服装が望ましい。

■ 指導者、人数、費用など

対象	小学生以上	
指導形態	外部指導（研修指導員） ※導入～活動中～ふりかえり	3,000円／～90分 ※90分を超える場合は、別途30分につき1,000円 ※団体との打合せ時間も料金に含みます。
	団体指導者による指導 ※望遠鏡使用マニュアルがあります	無料
人数	研修指導員による指導：100人以内 ※100人を超えて研修指導員を2名手配する場合はご相談ください。	
	団体指導者による指導：制限なし	
実施時間	1時間	
場所	所内（かんぽ広場・玄関前） ※冬期は研修室（室内）	
時期	通年	



2011.12.10　月食

■ 展開

	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	
			団体指導者による指導の場合	研修指導員による指導の場合
導入 20分以上	動機付け	・かんぽ広場に集合する。	観察の目的を知らせる。	研修生の聞く態度に配慮する。 ※外部指導者はパワーポイントを使って説明していきます。
	月や星の動きについて学ぶ	・ワークシートに記入して天体の学習をする。	ワークシートで説明する。	
	安全指導（全般）	・活動中の注意点を知る。	役割分担や協力関係を明確にしておく。	
活動中 30分	観察（30分）	・天体望遠鏡で観察する。 ・星座早見版で探してみる。	各グループの観察に気を配る。	外部指導者の指導のもと各グループの観察に気を配る。
まとめ 10分	ふりかえり	・グループ内でお互いの感想を発表する。	グループの感想をまとめ、発表させる。	研修生の聞く態度に配慮する。

■ 留意点

安全上の留意点

- 暗い場所での活動です。引率者は、目を離さないようにしてください。

指導上の留意点

- 当日の天候や月齢に左右される活動です。確認をしておいてください。
- 天体望遠鏡の取り扱いには充分気をつけてください。